

令和4年度裾野市地域公共交通活性化協議会（第1回）議事録

1 開催日時

令和4年6月2日（木） 15時00分～17時00分

2 開催場所

裾野市役所4階401会議室

3 出席者

別添資料 No.1 のとおり

4 内容

(1) 報告事項

①これまでの振り返り

- ・公共交通計画策定のための令和4年度スケジュールについて（資料 No.3）
- ・裾野市内循環バス運行開始について（資料 No.4）
- ・裾野市内循環バス利用者数・バス停ごとの利用率について（資料 No.5）
- ・高齢者バス・タクシー利用助成券利用状況について（資料 No.6）
- ・令和4年度裾野市地域公共交通活性化協議会予算書について（追加資料①）

②報告事項【資料 No.7・8 参照】

- ・第三者評価委員会（令和4年2月21日）による評価結果について（資料 No.7）
- ・裾野市内循環線のバス停位置変更、令和4年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金に係る地域公共交通計画の認定について（資料 No.8）

(2) 議事

①裾野市地域公共交通計画網形成計画の事業実施状況の評価

1. 概要版説明（資料 No.9）

2. 2021年度「裾野市地域公共交通網形成計画」事業実施状況の評価（資料 No.10）

3. 現時点での裾野市地域公共交通網形成計画振り返り及び今後の方針（追加資料②）

→承認。

②市民アンケートの内容について（資料 No.11）

→承認。

※事務局にてアンケートの内容を再度練り直し、市民への展開前に委員へ共有

③地域公共交通確保維持事業に係る計画の申請について（追加資料③）

→承認

(3) その他

①バス停の安全性確保対策の進捗状況について（追加資料④）

（静岡県地域交通課長田様説明）

5 意見交換

(1) 報告事項：これまでの振り返り

意見等	事務局回答
○日本大学 藤井教授	
<ul style="list-style-type: none"> ・国の補助金を受けるための基準だけ満たしていればそれで良いわけではない。現時点での市内循環バス利用者数についてどのように考えているか。 ・循環バスだと乗車場所によって運賃が変わってしまう。利用者の「乗車場所」と「降車場所」をペアで考え、どの路線形態が最も利用率が高いのか探る必要がある。この観点を考慮しながら、早めに事務局として目標数値を検討したほうが良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価指数の決定含め今後検討する。
○(株)三ツ輪交通自動車 中川常務取締役	
<ul style="list-style-type: none"> ・バス・タクシー利用助成券について、収率が算出されていないとよし悪しの判断ができない。月ごとに収支率を算出して富士急バスや安全タクシー等に共有したほうが良いと思う。 ・バス・タクシー利用助成券の利用率についても、市内循環バス利用者数と同様に目標数値がないと評価できないと思う。 	
○富岡地区 八木代表	
<ul style="list-style-type: none"> ・現在循環バスを利用している方々の生の声を拾う方法はある？拾った意見を月に1回程度で公表してみても良いのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスやタクシー運転手の意見や今年度運用を開始した「デジタル目安箱」から意見が寄せられることが多い。

(2) 報告事項：その他

意見等	事務局回答
○日本大学 藤井教授	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 No.7 のうち『4.結果 期待する取組』に記載されている「取り組みに対する反省を踏まえ… (以下略)」という評価をどのように受け止めた？担当部署だけで地域公共交通維持に取り組むのは困難。路線整備されないのは都市計画との関連性が取れていないことも一因として考えられ得 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用に関する基本構想は「第4次国土利用計画裾野市計画」にて策定している。裾野駅・岩波駅だけでなく古くからある地域拠点を活用して公共交通活性化を図りたい。本協議会で議論されたことは分かりやすく全庁展開できるようにしたい。(会長)

る。市で策定しているその他の計画とこの公共交通計画が関連付けられているのか。他部署との連携も必須であると思う。	
○深良地区区長会 西島会長	
・資料 No.8 の「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」に係る補助対象経費について詳細を聞きたい。	・補助対象経費 695,000 円のうち、中部運輸局から 35,000 円の補助を受ける。
○裾野市老人クラブ連合会 鎌野会長	
・中部運輸局からの補助金 35,000 円は予算書に入れてある？	・歳入の部のうち、「補助金（予算額：3,035,000 円）」に入れてある。

(3) 議事：裾野市地域公共交通網形成計画の事業実施状況の評価

意見等	事務局回答
○裾野市商工会 渡邊会長	
<ul style="list-style-type: none"> ・資料 No.10 の評価指数のうち、「裾野駅・岩波駅利用者数」とは？ ・バス全体の利用人数の目標値が明確でないと感じる。全体としての目標値はどのように管理しているのか？ ・JR の利用人数をここで評価する必要はあるのか？バスとの関連性がある？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「裾野駅・岩波駅利用者数」とは駅の乗車人数を指す。 ・バス全体の利用人数は今回の計画の中で評価指標としていないので調査していない。今後評価指標に入れるか検討したい。 ・計画の基本方針に基づき評価指標を決めているので、JR の利用人数も項目に入れた。
○深良地区区長会 西島会長	
<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行バス（すその一）は収支率が低かったため、結果的に廃止となった。2021 年度の実績 12.3%の収支率では富士急の収支が合わない。市内循環バスの運行は収支率が上がることを見越して新しい路線に設定した？ ・今後の方針の中で「新たな拠点（営業所など）の整備の可能性」とあるが、実際に設置することを検討しているのか？人手不足と利用人数不足で新規営業所の設置は不可能だと思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内循環バスの路線は収支率を上げることを目標に設定したわけではなく、バスの路線網を消失させないことを目的に国の補助金を活用して設定した。ただし、乗車率が低ければバス路線は衰退していくので、収支率を見越した路線図について今後検討したい。 ・市が新規に設置するのではなく、事業者から相談があった場合に新規設置を検討するという意味合い。

(4) 議事：市民アンケートの内容について

意見等	事務局回答
○静岡県地域交通課 長田様	

<ul style="list-style-type: none"> アンケート案 P5～P6 について、「鉄道」の項目のみ利用目的を問うのはなぜか？「バス」についても利用目的が明確になっていれば利用者のニーズが把握できて路線ダイヤ等を決めるのに役立つと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> P4 の外出先について問う項目で「外出先までの交通手段」を盛り込んだので省略した。
○西地区区長会 小松会長	
<ul style="list-style-type: none"> なぜ「市民対象」限定なのか。市外在住で市内通勤・通学者も対象に入れてみては？事業所や高校にも幅を広げては？ 「デジタル目安箱」を活用してみてはどうか？経費削減にもつながるのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> 事務局で持っている個人データから抽出してアンケートを実施しようと思っている。市外在住かつ市内通勤・通学者に対するアプローチは、「バスに乗りしてのヒアリング」「高校への調査依頼」といった案が挙げられるが、そこまでやり切れるか…。ただし、利用者の声を拾うという点では必要な調査だと思うので検討したい。
○裾野市商工会 渡邊会長	
<ul style="list-style-type: none"> インターネットを活用して自由に回答してもらうのも良いと思う。 飲酒した人が代行をかなり使用すると思う。選択肢として盛り込んでみては？ 	<ul style="list-style-type: none"> 回答者に偏りが出てしまわないか懸念している。集計して結果を出すまでが困難と判断したので、こちらで無作為抽出することにした。 選択肢に追加しても良いと考える。
○株三ツ輪交通自動車 中川常務取締役	
<ul style="list-style-type: none"> 「8 助け合い交通」の項目について、この質問の意図は何？目的と今後どうするか教えてほしい。認知度を高めたいのとニーズを把握したいということか。 市内には過疎地域はないと考えている。自家用有償運送に関していえば、タクシー事業者は依頼があれば市内どこでも行く。お互いに補完しあう関係は必要だと思うので、要望があればボランティア送迎をしてみても良いと思うが、競合しないようには考えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 交通手段については様々なサービスを検討している。今回のアンケートについては「自動運転などの新しいサービスが市民に認知されていない」ということもあり、内容を絞り助け合い交通の項目を入れた。結果次第ですぐに取り組みするというわけではないが、新しい移動手段に関する項目を入れたいという考えがあった。 アンケートはあくまで「バックデータの補完」ではなく、「市にとって何が最適な交通手段か検討する材料」として実施することは、どうかご留意いただきたい。
○裾野市老人クラブ連合会 鎌野会長	
<ul style="list-style-type: none"> 「80 歳以上」という年齢区分についてももう少し細分化しても良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討させていただく。
○富岡地区 八木代表	

<ul style="list-style-type: none"> ・「助け合い交通をやりたい」という意図が明らかなアンケート内容となっていないか？「デマンドタクシー」など他のサービスもあるので、ある程度サービスの選択肢を増やして回答者に選択してもらう方が良いのでは？急すぎでは？ ・「10歳代」とは具体的にどの年代？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の市民意識調査の結果「新しい移動手段に対する認知度」がそもそも低かったため、今回のアンケートでは設問を省略した。具体的な例を挙げてアンケートのボリュームが増すと回答率が低くなってしまいう懸念もある。項目について再検討させていただきたい。 ・15歳から19歳まで。
--	--

○日本大学 藤井教授

<ul style="list-style-type: none"> ・「助け合い交通」について不安を感じる。千福が丘でボランティア輸送を実施した事例があり、交通不便地域や集落のまとまりの中で事業を地域展開することで地域が成り立つかどうかの問いであれば良いと思うが・・・ ・総動員というキーワードがあるが、本当に総動員すべきなのか、事務局にしっかりと考えてもらいたい。 ・タクシー事業者が交通空白地域は全てまかなうとしている市もある。元気に活用できる、運用できる交通事業者がある場合は、それを優先して事業の継続を担うところ、支援する必要があるところを事務局が把握したうえで設問とした方が良い。 ・アンケート内容については今一度注視したほうが良い。P7「7公共交通の利用意向」とあるが、バスの利便性に関する項目であり、「4路線バス」の項目では？また、情報案内に関する設問は聞いてどう活用するのか？自治体としてこのような路線バスを活用する仕組みは、最低限具備しなければいけないものでは？ ・インターネットを活用したアンケートもどんどんやった方が良い。地域コードのようなものを振り、回答時に入力してもらい地区を把握できる。年代層が偏る可能性はあるが地域全般を対象にできるため検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問内容、調査対象、インターネット活用したアンケートなど様々な意見が出たため、事務局として再検討させていただきたい。しかしながら、タイトなスケジュールでアンケートを実施し計画を策定していかなければならないので、会長と相談して事務局一任で進めさせていただきたい。 ・会長：協議会でいただいたご意見は重いものと受け止めているため、ご意見を尊重しつつアンケート内容を修正させていただきたい。ご意向に沿えない場合もあるかもしれないが、基本的にはいただいたご意見に沿って修正をさせていただく。
--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・「追加資料②資料 10 補足資料」記載の「パークアンドライドの可能性」について、駐車場などを整備して実現に向けて取り組む考えがあって計画に盛り込む考えがあるのであれば、アンケートにその内容を追加しても良いのではないかと。 ・「追加資料②資料 10 補足資料」のうち、実施結果の表現（☀・☁・☔）も検討してみてもは。 	
○(株)三ツ輪交通自動車 中川常務取締役	
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施前に協議会委員に内容を共有したほうが良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施前に協議会委員にメールや郵送で送付させていただく。

(5) 議事：地域公共交通確保維持事業に係る計画の申請について

※特に意見なし